



ISO-7

SLスロツクシリーズ

タイルホルソー

取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください

- △警告 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容
- △注意 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽症を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容

警告

- ① 無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をしてください。
 - ② 作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにしてください。
 - ③ 指定された用途以外に使用しないでください。また、改造や分解は絶対にしないでください。
 - ④ 作業中は、保護メガネを必ず着用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用し、騒音の大きい作業では、耳栓やイヤーマフなど防音保護具を着用してください。
 - ⑤ 作業中は振り回されないように、電動工具を両手で確実に保持してください。
 - ⑥ 高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意してください。
 - ⑥ カッター取り外し操作に注意してください。
- 注意:** スリーブを操作すると、カッターが外れ飛び出す構造になっていますので、取り外し操作時はカッター刃先側を人に向けた状態で行わないでください。また、高所作業ではカッターの落下に注意してください。
- ⑦ 穴あけ直後のカッターや切削片は熱くなっていますので、火傷をしないよう保護手袋等を着用してください。ただし、カッター回転中は巻き込まれる危険がありますので、保護手袋は着用しないでください。
 - ⑧ カッター及びセンタードリルの着脱時は、保護手袋を着用し、刃先やセンタードリルだけが火傷をしないように注意してください。
 - ⑧ カッターとシャンクの着脱時は、電動工具の電源を必ずコンセントから抜いて作業を行ってください。
 - ⑨ ご使用になる電動工具の「取扱説明書」をよく理解された上で、ご使用ください。

注意

- ① 使用する製品・サイズにあった電動工具を使用してください。
- ② 電動工具は、電気ドリル・軽量ハンマードリル(SDSプラス)の回転モード以外ではご使用にならないでください。
- ③ 穴あけ途中は、絶対に回転を止めないでください。(刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります。)
- ④ 回転を止める場合は、カッターを穴あけ対象物から引き抜いた後で止めてください。
- ④ 切削片がカッターから出にくい場合は《切削片取り出し方法》を参照し、カッター後方よりコア押し出し棒を差し込み、切削片を刃先側へ押し出してください。
- ⑤ カッターは変形しないように注意して取り扱ってください。また、変形したカッターは使用しないでください。
- ⑥ カッターをシャンクに装着する場合は、挿入部に切り粉が付いていない状態で作業してください。
- ⑦ カッターを装着していない状態で、シャンクのスリーブがロック状態になった場合は、スリーブを引張りロック解除状態にしてから、カッターを装着してください。
- ⑧ カッターの着脱操作がスムーズに出来ない場合は着脱操作部内にエアーを吹き付け綺麗にしてください。また、粘度の低い防錆潤滑油を着脱操作部内に塗布してください。潤滑油を塗布する場合は、粉塵等が付着しないように少量を塗布してください。
- ⑨ 切粉の排出が悪い場合は、バックモーションを行いながら穴あけされると改善されます。
- ⑩ 1穴毎にカッター内の切削片を取り除いてください。
- ⑪ ご使用後は水分を取り、油などを塗って錆止め処理を行って下さい。

本製品について

- 用途(被削材)
- ◎適合材: 磁器タイル、タイル
 - ◎穿孔可能材: 石材、大理石、瓦

仕様

刃先径 : 22mm~65mm
有効長 : 38mm
シャンク : エスロックシャンクを使用

センターピン

センターピン(品番:SLCP)

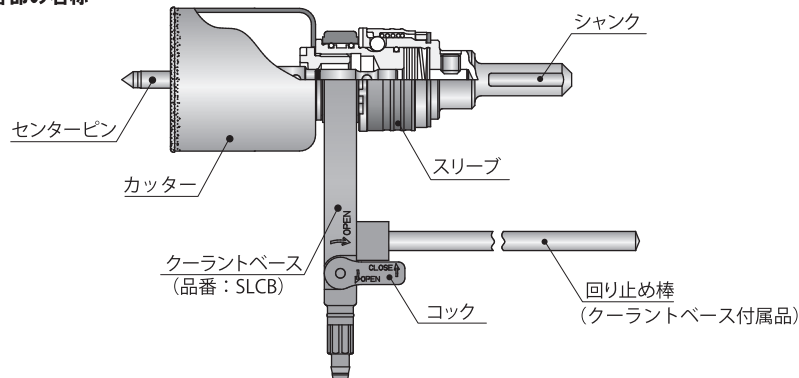
使用条件

電動工具は以下の条件を満たすものをご使用ください。

- ・クラッチ付き
- ・二重絶縁タイプ
- ・消費電力500W以上

※回転速度が低く、消費電力の小さな機種をご使用されますと、穴あけ効率が落ちます。
回転速度が高く、消費電力の大きな機種をご使用ください。

各部の名称



シャンク

このカッターに使用できるエスロックシャンクには下表の種類があります。
用途・使用する電動工具に合わせて使用ください。

品名	品番	仕様
ストレートシャンク	SLSKT	10mm
SDSプラスシャンク	SLSKTR	軽量ハンマードリル用

⚠ 回転モード以外ではご使用にならないでください。

＜電動工具の適正回転速度・消費電力の目安＞

刃先径 (mm)	適正回転速度 (min ⁻¹)
22~38	4900~8000
40~65	2700~7000

※上記は弊社標準条件においての目安です。
穴あけ対象物の材質や固定方法等により、適正回転速度は異なります。
※適正回転速度は上表を参考にし、できるだけ高回転でご使用下さい。



ユーザーと共に歩む

株式会社ミヤナガ

受注センター

受付窓口 ☎0120-81-3875

〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

商品お問い合わせ窓口 ☎0120-3875-14

URL http://www.miyana.co.jp

F A X ☎0120-3875-17

4955857-7

使用方法

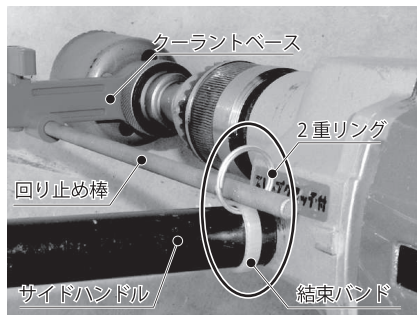
● クーラントベースの取り付け方法

- ① シャンクを電動工具に取り付けてください。
- ② カッターにクーラントベースを取り付けます。
- ③ 「カッターの取り付け方法」を参考にし、カッターをシャンクに取り付けてください。
- ④ クーラントベースの回り止め棒が電動工具のサイドハンドルの位置に来るようにします。
- ⑤ サイドハンドルと回り止め棒の交差する位置に、付属の2重リングを結束バンドで固定してください。



結束バンドの余分な部分をハサミで切り取り、電動工具に巻き付かないようにしてください。結束バンドは取り外して再度使用可能です。

- ⑥ 止め輪に回り止め棒を通してクーラントベースが切削中に回転しないようにしてください。

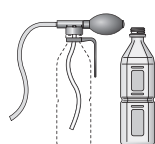


● 給水方法

水の供給方法は以下の方法があります。

- ・ハンズフリー給水セット (別売)
- ・簡易湿式セット (別売)
- ・その他: ホース (内径 4 mm) を使用する。

クーラントベースにホースを接続し、必ずホースバンド等でホースを固定してご使用ください。



ハンズフリー給水セット
(品番: PBSSH)



簡易湿式セット
(品番: DME)

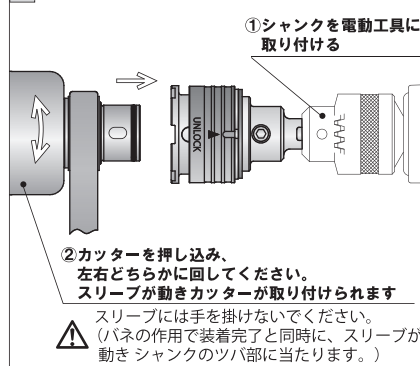
※簡易湿式セット及びペットボトルハンズフリー給水セットを使用する場合は、各々の取扱説明書をよくお読みになりご使用ください。

● 使用上の注意

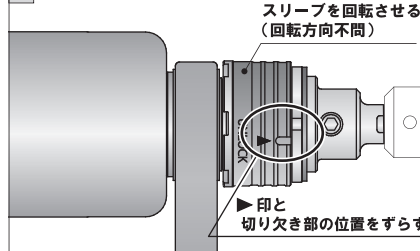
- ① 「使用条件」の欄を参考にし、穴あけ対象物に適した電動工具で回転モードのみでご使用ください。
- ② 「クーラントベースの取り付け方法」を参考にシャンクを電動工具に取り付けてください。
- ③ センターピンをカッター刃先側から差し込んでください。
(センターピンの後端部をカッターのセンター穴に差し込みます。)
- ④ コックを開き、水が適量出るように調整してください。
- ⑤ 穴あけ中心位置にセンターピンを当て、電動工具を回転させ穴あけを始めてください。
- ⑥ カッター刃先が穴あけ対象物に急激に当たらないよう穴あけを始めてください。
- ⑦ カッター刃先が2～3mm切り込んだ時点で穴あけを中断し、センターピンを取り外してください。
- ⑧ カッター刃先を下穴に合わせ穴あけを続けてください。
- ⑨ 穴あけ作業中は、電動工具の回転が落ちないように、ゆっくり真っ直ぐに切り込んでください。
⚠ 穴あけ作業中は常に注水して下さい。
- ⑩ 穴あけ完了後は、カッターを正回転させたまま真っ直ぐに引き抜いて下さい。
- ⑪ カッター内に切削片が残っている場合は、「切削片取り出し方法」を参考に切削片を取り出して下さい。

● カッター取り付け方法

1 カッターの取り付けとロック



2 カッターのロック



3 カッターのロック確認

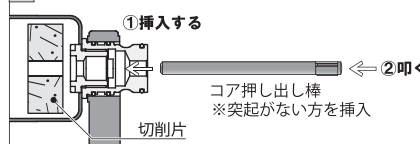


● 切削片取り出し方法

1 取り出し準備

カッターをシャンクから取り外してください。

2 切削片取り出し

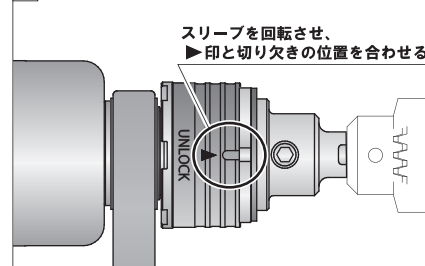


● カッター取り外し方法

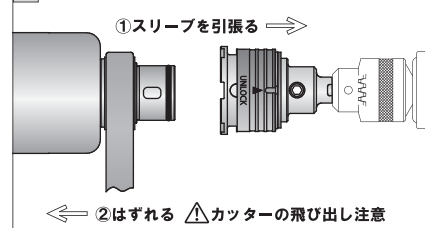
1 取り外し準備

シャンクを電動工具に装着した状態で、カッターを手で持ってください。
⚠ けがや火傷をしないよう、保護手袋を着用してください。

2 カッターのロック解除

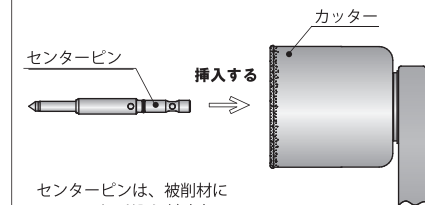


3 カッターの取り外し



● センターピンの取り付け方法

センターピンをカッター刃先側から差し込む



センターピンは、被削材に2～3mm切り込んだ時点で取り外してください。